

施策評価シート

評価年度	平成25年度	事業実施年度	平成24年度	施策主管次長名	教育部次長 近藤 政彦
施策番号	58	施策名	文化・芸術に親しみ、育むまち	総合計画掲載頁	110
関係課名	教育行政課				

1. 施策の概要

施策の目的	対象	市民	対象指標名		単位	H23実績	H24実績	H25計画	H26見込	H27見込	H28見込	
			①	人口	人	58,762	59,141	61,400	62,500	63,700	64,700	
			②									
			③									
意 図	知性、教養が高く、文化的な活動が盛んなまちにする					成果指標名	①	文化・芸術の振興について満足と答えた人の割合				
						②	市民一人当たりの図書利用冊数					
						③	市民一人当たりの文化会館の年間利用回数					
						④						

2. 成果指標

指標	成果指標名	単位	H23実績	H24計画	H24実績	H25計画	H26見込	H27見込	H28見込
①	文化・芸術の振興について満足と答えた人の割合	%	50.7	53.0	52.6	53.0	53.0	53.0	55.0
	指標設定の考え方と把握方法	多様な文化の関心度合いの包括的指数をこの割合とし、市民アンケートで把握する。							
②	市民一人当たりの図書利用冊数	冊	5.7	5.7	5.3	5.7	5.7	5.7	5.7
	指標設定の考え方と把握方法	豊富な知識を有した市民が多様な文化活動を展開している様子の表す指標とし、図書館で把握							
③	市民一人当たりの文化会館の年間利用回数	回	3.5	3.5	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8
	指標設定の考え方と把握方法	市民が文化活動に参加したかの具体的指数とし、文化会館の指定管理者が算定する。							

3. 施策の評価

項目	評価のコメント				
施策の成果向上に向けての市民と行政の役割分担	市民	市民は、自らの教養を磨くため図書館、資料館を利用するとともに、各種の文化芸術活動に参加し、積極的に芸術鑑賞することで多様な文化活動の輪を広げる。			
	行政	行政は、図書館機能や発表会場などの文化芸術活動拠点を整備し、各種の文化芸術イベントを企画するとともに、市民の自主的な文化活動が活発になるよう支援する。			
達成度評価	近隣との比較	<ul style="list-style-type: none"> 市民一人当たりの図書利用冊数は、豊田市9.4冊、日進市14.0冊、東郷町3.7冊で、みよし市5.3冊で他市に比べ低い状況である。 市民一人当たりの文化会館の年間利用回数は、豊田市0.8回、日進市2.1回、東郷町1.9回で、みよし市は3.8回で最も高い利用状況となっている。 			
	過去3年間の実績との比較	<ul style="list-style-type: none"> 文化・芸術の振興について満足と答えた人の割合は、平成22年度53.4%、平成23年度50.7%、平成24年度52.6%で横ばいの傾向にある。 市民一人当たりの図書利用冊数は、平成22年度5.8冊、平成23年度5.7冊、平成24年度5.3冊で減少傾向である。 また、市民一人当たりの文化会館の年間利用回数は、平成22年度3.6回、平成23年度3.5回、平成24年度3.8回で、近年は増加傾向である。 			
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ◆文化・芸術の振興について満足と答えた人の割合は、52.6%、不満は21%、わからないが26.4%で2.7ポイントで、半数以上が満足している一方で約2割が不満と答えている。 ◆文化会館の利用状況は近隣と比較して高い状況で利用者も年々増加している。しかし施設は建設後20年が経過し経年劣化に伴う不具合が発生している。 ◆図書館の利用状況は近隣と比較して低い状況で図書利用冊数も年々減少している。しかし蔵書の保管スペースや閲覧スペースが手狭となっており施設整備が課題である。 				
今後の取り組みの方向性および次年度の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ◆文化会館の指定管理者に民間企業の特性を活かした自主文化事業をより充実した内容となるよう調整する。また、文化活動発表の機会の確保として文化展や芸術発表などの事業を実施する。 ◆利用者が安定的に利用できるように経年劣化した施設を調査改修整備をする。 ◆図書館では継続的に新刊図書の提供し、文学講座の開催、図書館団体やボランティアを育成する。 ◆実施設計を早期に策定し、複合施設の建設推進を図る。 				
	(26年度の取り組み) 複合施設の建設に着手する。				
市民意識	重要度	低い	満足度	低い	平成24年度市民アンケート調査による